

ガンマナイフ設置病院

- NTT東日本関東病院
- RIT葛西ガンマナイフセンター
- 相澤病院
- 秋田県立脳血管研究センター
- 浅川総合病院
- 熱海所記念病院
- 厚地脳神経外科病院
- 愛媛県立中央病院
- 大阪市立総合医療センター
- 大田記念病院
- 岡村一心堂病院
- 沖縄セントラル病院
- 勝田病院
- 関西労災病院
- 北日本脳神経外科病院
- 向陽病院
- 国立循環器病センター
- 湖東記念病院
- 小牧市民病院
- 済生会熊本病院
- さいたまガンマナイフセンター
- 塩川病院
- 城山病院
- 新古賀病院
- 新須磨病院
- 新白鷺八幡記念病院
- 高井病院
- 高島病院
- たかの橋中央病院
- 茅ヶ崎徳洲会総合病院
- 千葉県循環器病センター
- 築地神経科クリニック
- 東京女子医科大学病院
- 東京大学医学部付属病院
- 獨協医科大学病院
- 富永病院
- 永富脳神経外科病院
- 中村記念病院
- 名古屋共立病院
- 日高病院
- 姫路中央病院
- 福岡記念病院
- 福岡和白病院
- 藤枝平成記念病院
- 藤元早給病院
- 古川星陵病院
- 南東北医療クリニック
- 美原記念病院
- 宮崎病院
- もみのき病院
- 野猿脳神経外科病院
- 山形県立中央病院
- 横浜労災病院
- 洛西シメズ病院

(五十音順)



熱海所記念病院
病院長
杉浦 誠

すぎうら・まこと / 1975年大阪医科大学卒。同年東京女子医科大学脳神経外科に入局。88年熱海所記念病院脳神経外科部長、99年より現職。

「高齢者になるほどがんにかかりやすくなります。そして、高齢者社会を反映して、これからはがん患者数は増加するでしょう。がんは脳に転移する

ことがありますが、残念ながら抗がん剤は血液脳関門があるため脳まで達しません。そこで、転移性の脳腫瘍も含めた脳疾患には、放射線治療が

日本で唯一の目的の導入となる新しいガンマナイフ「パーフェクション」を駆使して、熱海の地で先端治療に挑む熱海所記念病院院長、杉浦誠先生に語っていただいた。

■ 医療法人社団 **熱海所記念病院**

新型、高機能な『パーフェクション』を導入



■ パーフェクションを囲むガンマナイフチーム(右が杉浦院長)



■ 治療を終えた患者さんと談笑する中谷幸太郎医師(ガンマナイフ部長)

選択されます。当院は、脳の放射線治療機器のガンマナイフとして、新しいモデルとなる「パーフェクション」を昨年10月に導入いたしました。患者さんへの負担軽減や治療計画の向上、治療領域の拡大など従来型を大幅に改良した

ものになっていきます。患者さんの求めているものにお応えできるように、都心からもアクセスのいい当院がお役に立てることを望んでおります」



Hospital Data

医療法人社団 熱海所記念病院

〒413-0022 静岡県熱海市昭和町20-20
TEL.0557-82-3000 FAX.0557-81-0362
http://atami-tokoro.jp/

ガンマナイフに関するお問い合わせ TEL.0120-1056-17 FAX.0557-81-0362
http://www.tmg.or.jp/gamma_knife/index.html E-mail: gamma@tmg.or.jp



■ レクセルガンマナイフ4C

従来のがん治療は、からだにメスを入れる手術が主役だった。しかし、数年前から患者さんにやさしい治療方法として「放射線治療」がクローズアップされている。今注目を浴びる「放射線治療」のひとつであるガンマナイフとは。その有効性についてフィーチャーしてみる。

先端技術における **ガンマナイフ**の有効性

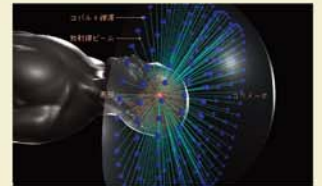
寄稿 ■ 先進医療紹介

埼玉医科大学
客員教授 大西 正夫

ガンマナイフに見る放射線治療の進化と広がり

病巣(病変部)にだけ放射線を当て、正常組織に放射線が当たらないようにする高精度放射線治療が、年を追うごとに進化を遂げている。この放射線治療は大きく分けて、①いろいろな方向から放射線を当てる定位放射線療法②放射線の強さを細かく調整してがんの部位に集中させる強度変調照射法③より破壊力の強い陽子線や炭素線を使った粒子線治療の3つある。ガンマナイフは①に分類され、集束照射で治療する定位手術の照射法とも呼ばれる。放射線医療の世界に登場したのは一九六八年で、歴史は意外に古い。スウェーデン・カロリンスカ大学脳神経外科の故ラース・レクセル教授が考案したのだが、当初は三叉神経痛など機能的脳病変に対する治療が目的だった。その後、転移性脳腫瘍をはじめ、くも膜下出血などを引き起こす脳動静脈奇形などの治

療に使われるようになった。日本へは、一九九〇年に大病院に導入されたのが最初だった。今や日本はガンマナイフ治療で世界のトップを走っている。ガンマナイフの特長をいくつか挙げてみる。①脳の深部にある転移がんも治療可能となる②手術に耐えられない心筋梗塞や重症喘息など合併症患者、高齢者も優先適応対象となる③治療後のQOL(生活の質)が維持されやすい④先進医療の応用として、難治性てんかんや難治性疼痛、パーキンソン病などの不随意運動といった機能的疾患への治療が増えていた。⑤難治性疼痛には、腫瘍だけがなく、脳卒中に伴う「視床痛症候群」の疼痛コントロールが含まれる。疾患の種類や性質に応じた



■ ガンマナイフ照射場面図

治療の目的も特長のひとつだ。「脳腫瘍の治療の場合には、完全消失ではなく、腫瘍の成長を食い止めるのが主眼であり、良性腫瘍であれば、現状維持でも治療は成功したことになる」(東京女子医科大学・林基弘講師)。一方、機能的脳疾患に対しては、完全除痛やてんかん発作消失といった完治がゴールとなる。

古くて新しい放射線治療 **それがガンマナイフ**

ガンマナイフは四〇年以上もの間、常に装置・機器の改良や技術革新の手が加えられ、高精度放射線治療の先端を走ってきた。三年前に出た新しい機種「パーフェクション」は、治療範囲を広げる可能性を持った治療装置として期待されている。こういった進化は、CT(コンピュータ断層撮影)、MRI(磁気共鳴断層撮影)による高精度画像がなければ実現しなかった。的確で切れ味鋭い放射線手術と同時に、画像誘導型手術とも言えるのだ。より重要なことは、高い有効性と安全性を基盤にした医療の質向上への豊かな可能性であり、期待である。